SDGs Company 00

リサイクルを通じて地域と一緒にSDGs

有限会社 木村商店

学校行事の資源回収に協力していた縁でパートナー活動が実現

回収したアルミ缶は重量に応じて買取りを行ない、PTA活動などの費用として活用

身近な「資源」を考える機会を学生に提供。

リサイクル資源を活用する循環型社会の推進において、廃棄物回収・処理会社の役割は大きい。『木村商店』では事業そのものがSDGsであることを生かし、昨年秋から大野市の尚徳中学校と連携して生徒と一緒にリサイクル活動を行なう取り組みをスタート。学校内にアルミ缶の回収ボックスを設置して、家庭から出るアルミ缶の資源回収を行なっている。「SDGsというと特別なことと思いがちですが、資源回収という身近な活動を通して、暮らしのなかにもできることがあることを知ってもらえたら」と語る木村政嗣社長。尚徳中学校の高村光昭教頭も「活動に取り組むことで、SDGsを体験から学んでほしい」と期待を寄せる。

活動に取り組むことで資源への意識が変わる。

高村教頭は「資源回収というテーマができたことで生徒も実践しやすくなり、具体的な行動を考えられるようになった」と変化を感じているそう。実際に活動を始めて以降、学校にアルミ缶を持参する生徒が増え、福祉環境委員の生徒たちからは、回収量などを計上して発信できないかという意見も出ているという。「何気なく捨てているものを『これはゴミなのか？』と考えるだけでも意識が変わるはず」と木村社長。学生がリサイクルへの理解を深め、実体験による学習の機会も提供できる同社の取り組みは、教育の観点からも注目が集まっている。

有限会社 木村商店

廃棄物の収集運搬および再生可能な製鋼・製紙原料の加工を行なう。大野市では鉄・非鉄金属の処分が可能な唯一の事業者。ゴミ回収のプロとして地域の清掃活動にも協力しており、大野市の美しい景観維持にも貢献している。

大野市春日3-2-19
0779-65-3841

廃棄物の収集運搬時にはエコドライブを心がけ、アイドリングストップや車両の整備点検なども徹底している

具体的な取り組み

産業廃棄物を運搬し、選別・機械破砕によるリサイクル処理を実施。選別処理で再生可能エネルギーを生み出す。

学生に向けた業界の理解深化や求職活動をサポート。従業員がいきいきと働ける環境づくりにも積極的に取り組む。